

2006年2月 山梨大学医学部同窓会誌 教室紹介

当教室は昭和57年(1982年)4月に山梨医科大学寄生虫学免疫学講座(中島康雄教授)として開講しました。中島教授の退官後、平成15年(2003年)7月1日に順天堂大学から、中尾篤人が教授として赴任し、山梨大学大学院医学工学総合研究部免疫学講座と名称変更し、現在に至っています。

現在当教室は、教育では、主に医学部3年生における免疫学ならびに寄生虫学講義を教室スタッフが担当し、研究では、大学院生(平成18年2月現在7人)が、主にアレルギー性疾患(花粉症や喘息、食物アレルギーなど)、関節リウマチ、癌の新規かつ根本的な治療法の開発を目指した研究に取り組んでいます。また大学院生の興味に応じて骨疾患や消化器疾患、ワイン成分(ポリフェノール)などの研究もしています。

当教室には、面倒な集まりや決まりごとは、ほとんどありません。毎週水曜日午前9時半からの研究ミーティング(全体で1時間程度)で自分の1週間の成果を話すことと、毎週金曜日夕方5時からの抄読会に参加すること(全体で1時間程度)(免疫学の洋書を読み、自分の研究に関連する論文を皆の前で紹介すること)、研究ミーティング前にマウスのケージ交換を皆で行うことだけが、duty(週に3時間程度!!!)となっています。それ以外は、午後から来ようが、スキーに行こうが、韓国に旅行に行こうがまったく自由です(実話)。ただし、この自由に落とし穴があることは、もちろん明らかです(笑)。よいデータがでるかどうかは個人の運不運もあるので問いませんが、実験をやらさざぼっている人は注意されます(私に)。

当教室のめざす理想は、和気あいあいとした雰囲気を保ちつつ、なれあいにならず、常にサイエンティフィックに新しい価値を見出せる(よい論文をだせる)教室です。研究活動に(たとえ人生の一時期でも)触れることによって、科学的なものの見方(何がオリジナルで重要なことか、どのようなロジックが使われているか等)を身に付け、今後の人生に役立ててもらえるように願っています。

どこかで聞いたような話でなくイメージーションのある研究テーマを設定し、その解決にむかって自分で考え英語で発表する訓練をあなたも当教室に参加して実践してみませんか?大変ではありますが、とてもやりがいがある有意義なことだと思います。(文責 中尾篤人)